

事務事業評価の評価結果について（平成26年度の事業に対する評価）

競艇事業部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
競艇管理課	場外発売委託事業	他のボートレース場及びボートピア（専用場外発売場）等に自場の開催レース発売を委託し、売上向上に努めます。	場外委託売上額	場外発売委託事業は、自場競走開催について場外発売場等における発売を委託する経費であり、その成果は、当該場外発売場等における売上収入に求められます。なお、目標値は、各年度の開催日数やグレードを踏まえた当該年度予算額とします。	8,372,000千円	9,444,032千円	開催日程、番組、広報宣伝、ファンサービス、場外発売場への営業活動が総合的に売上に影響するため、各部門において売上向上策に努めます。	委託発売依頼について他場の協力が得られ、目標値を上回ることができました。更なる発売促進に努めていきます。	4	前年度はSG競走（総売上約80億円）を開催したため、前年度比では本場売上が9.8%の減、電話投票売上が12.5%の減、場外委託売上が25.3%の減となったものの、一般競走の売上が1日平均13.45%増と底上げできたことにより、収益を確保することができました。	現状維持	場外委託売上は、前年度のSG競走が延委託日数468日、委託売上約50億円であったため、大幅な減となったものの、一般競走の場外発売を他のボートレース場及びボートピア（専用場外発売場）等へ販売促進活動を行い、減少幅を抑え、収益を確保することができました。
競艇管理課	場外発売受託事業	様々な競走を楽しみたいというファンの要望にこたえるため、グレード競走についてはスタンド棟を開場し場間場外発売を実施するほか、外向発売所においては、一日最大4場発売から5場発売へ拡充し、年間約360日の発売を行い、ファンの多様なニーズに合わせた幅広い顧客獲得につなげます。	売上収入額	場外発売受託事業は、他場競走について本場スタンド棟及び外向発売所における発売を受託する経費であり、その成果は、当該受託に係る受託金収入・収益金収入がこの事業における収益であるといえます。なお、目標値は、当該年度予算額とします。	1,651,550千円	1,535,232千円	本場開催に合わせてスタンド棟で他場の競走を発売するなど受託売上の向上に努めます。	本場開催に合わせてスタンド棟で他場の競走を発売するなど受託売上の向上に努めました。外向発売所（津インクル）は安定した売上を維持しています。	4	津インクルを6日間閉館し床張替を行ったこと等により、受託売上は3%の減となったものの、受託発売の形態について精査を行い、効率的な受託発売を行うことにより、収益を確保することができました。	現状維持	受託発売については、積極的な自場競走との併売や、外向発売所の活用により売上向上を目指します。
競艇管理課	一般管理事業	モーターボート競走事業の経営の安定化を目指すため当該事業の総括及び調整を行う事業で、関係団体への分担金等や、各種の取り組みに共通して必要となる経費又は複数の取組に係る経費を総括し支出するものです。	経営の安定化	関係団体等への分担金は、経営の安定に与える影響も大きく、制度等の見直しに係る協議や働きかけを継続しています。このため、当事業の成果は、「負担金」における当事業における各種負担金の見直し後の額と、見直しがなかった場合の額の差額の合計とします。ただし、各制度ごとに算定方法が異なるため、目標数値の設定は困難です。			効率的な運営を図っていきます。	全国モーターボート競走施行者協議会を通じて、各種制度のあり方等について関係機関、団体と協議を継続するとともに、各種の経費削減を行いました。	4	モーターボート競走事業の経営の安定化を目指すため、モーターボート競走事業の総括及び調整を行いました。	現状維持	経営の安定化を目指すとともに、関係団体への協力要請を継続して行っています。
競艇管理課	一般開催事業	津市主催のモーターボート競走を開催し、津市モーターボート競走場における発売・払戻等や電話投票による発売・払戻等を行うほか、選手賞金や法定交納付金など開催に係る必要経費の支払を行います。	売上収入額	一般開催事業は、自場競走開催に係る経費であり、その成果は、自場開催に係る売上収入に求められます。なお、目標値は、当初予算額とします。（本場売上＋電話投票売上＋場外委託売上）	20,088,641千円	22,198,290千円	交納付金の負担割合の減額に向けた関係機関との協議に努めます。	周年記念レースの総売上額は約5.2億円。その他、特に電話投票・場外委託での売上確保に努めました。	4	前年度にSG競走（総売上約80億円）を開催したため、本場売上は9.8%の減、電話投票売上は12.5%の減、場外委託売上25.3%の減となったものの、一般競走の売上が1日平均13.45%増となり底上げできたことにより、収益を確保することができました。	現状維持	グレードレースの開催が収益向上に寄与する部分は大きく、また、売上向上のために効果的な開催日程の設定は自場レース開催の重要な要素であり、効果的な競走運営に努めていきます。

競艇事業部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
競艇管理課	スタンド棟管理事業	モーターボート競走事業における総合的な施設の維持管理、施設改修を行い、お客様に安全で快適な空間を提供します。	お客様に安全で快適な空間の提供	お客様に安全で快適にレース観戦ができるよう、施設の維持管理に努めます。これを成果指標とします。			お客様に安全で快適にレース観戦が出来るよう、スタンド棟及び津インクルの施設や設備を維持管理します。	施設を維持管理していく上で、長期的な維持経費の削減と、施設の延命化に向けた管理を実施しました。	4	お客様が安全で快適にレースを楽しんでいただける空間を提供することができました。	現状維持	お客様が安全で快適にレース観戦できる空間作りに努めます。
競艇管理課	競技施設管理事業	公平、公正で魅力的なレースを提供できるよう、競技施設の維持管理及び施設改修を行ないます。	競技施設及び設備の適正管理	競技に支障をきたす事が無いよう、競技施設の維持管理に努めます。			競技運営に支障をきたさぬよう、施設及び設備を適正管理します。	老朽化している競技施設及び設備を適正に維持管理及び施設の延命化に向けた部分的改修等を実施し、公平、公正なレースが提供できました。	4	公平、公正な競技運営ができるよう、施設及び設備を維持管理することができました。	現状維持	老朽化した施設の改修を進め、公平、公正で魅力的なレースを提供できるよう適正管理に努めます。
競艇管理課	モーター・ボート関係事業	公平、公正で魅力的なレースを提供するため、モーター及びボートの適正な管理及び関係施設の維持管理に努めます。	モーター及びボートの適正な管理及び関係施設の維持管理	競技に支障をきたす事が無いよう、モーター及びボートの適正な管理及び関係施設の維持管理に努めます。			日頃からモーター及びボートの適正な管理及び関係施設の維持管理に努めます。	競技の進行に支障をきたすことなく、モーター及びボートの適正な管理及び関係施設の維持管理を行うことができました。	4	平成25年度はSG競走を開催したため、以前よりモーターの基数が多く、自場開催日数も増加したが、公平、公正なレースが図れるよう、競技用モーター及びボートの適正な管理及び関係施設の維持管理に努めました。	現状維持	モーター及びボート等の競技用備品の適正な管理及び関係施設等の維持管理を継続して行います。
競艇事業課	従事員関係事業	投票業務を担当する従事員の適正な人事管理、投票所運営を行うことで、円滑な競艇事業運営を行います。	発券業務事故件数	従事員数の削減及びそれに伴う業務範囲の見直しを適正に行うことにより、発券業務でのトラブルを防止し、お客様の満足度を維持することを目的とし、窓口での深刻な発券トラブル件数を指標とします。	0件	0件	従事員数の減少に応じた業務の見直しによる発券業務事故の抑止	従事員の削減目標を達成できており、併せて業務内容の見直しを行い適性な窓口数の確保ができました。	4	従事員の削減目標を達成するとともに、併せて業務内容の見直しを行い適性な窓口数の確保ができました。	廃止	従事員の業務減少に伴い、今後、本事業の業務委託への切り替えを検討していきます。
競艇事業課	臨時職員関係事業	場内の秩序維持やファンサービスの向上を図るため、臨時職員の適正な人事管理を行います。	場内の苦情件数	ファンの満足度アップと場内秩序の維持のための適切な人員の確保を行い、場内の運営上のトラブルを未然に防止することで、お客様の満足度を維持することを目的とし、場内での苦情件数を指標とします。	0件	0件	充実したサービスの提供と適正な人員配置	適正な人事管理によりファンが安心してレースを楽しめる環境づくりができました。	4	場内整備や投票業務、入場業務など適正な人員配置を行い、場内の秩序維持をはじめ円滑な競艇事業運営を行うことができました。	現状維持	引き続き、競艇事業各部の臨時職員について、円滑かつ効率的な競艇事業運営のために、人事管理（賃金、手当、配置等）を行い、充実したファンサービス・投票所業務の運営に努めます。
競艇事業課	広報、宣伝事業	新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどの各種媒体を活用した広報宣伝を展開することにより、ボートレースファンへのレース情報の提供及びボートレースのイメージアップにより、売上向上を図ります。また、ファンサービス関係、印刷業務関係事業を広報、宣伝事業に統合し効果的に事業を実施します。	効果的な広報宣伝	競艇ファンに対するレース、イベントの情報等を効果的に提供するため、ポイントを絞った広報宣伝を成果指標とします。			費用対効果を検証した広報宣伝活動の実施	レースのグレードにより広報費用が増減するため指標を数値で表記できないが、ポイントを定めた広報宣伝を効果的に行うことにより経費削減を行うことができました。	4	新聞、雑誌、TV等既存メディアへの広告とともに、ホームページコンテンツの充実により、電話・インターネット投票利用者の利便性向上が図れました。	現状維持	売上形態別に効果的な広報宣伝活動を行い、イベント等ファンサービスと連動させ売上向上を目指します。

競艇事業部

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成26年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成27年度以降の事業の方向性	所見
競艇事業課	ファンサービス関係事業	レース場への来場者や、電話投票利用者に対して各種サービスやイベントを提供することにより、来場促進を行い、顧客満足度の向上を図ります。	来場者数	電話投票向けのファンサービスを充実させ、電話投票利用者を平成24年度に年間100万人以上とします。	360,000人	332,565人	各種イベント等を開催し、来場促進を図る。	各種イベント等を開催し、若年層からミドル層、シルバー層まで楽しめるように工夫し、特に子育て中の若年層にアピールすることで、中長期的な来場者増を図ることができました。	2	場内での各種イベント開催により、新規顧客の来場を図ったが、実入場者は減少した。今後はさらに魅力のあるイベント等を開催し、リピーターの獲得を目指すため、広報活動との事業体系を見直し、より効果的かつ効果的な活動とするため、広報宣伝事業との統合を図ります。	見直し	事業体系を見直し、平成27年度から広報宣伝事業と統合し、広報活動とイベント事業等を一体的に企画立案・実施し、お客様に親しまれ喜ばれるポートレース津を目指す。
競艇事業課	番組編成事業	ファンから注目される企画レースや、予想しやすいシード番組などの魅力ある番組編成に取り組みます。	魅力ある番組編成	既存ファンと新規ファンの双方が楽しめる魅力ある番組編成に努めるため、これを成果指標とします。	/	/	ファンから注目される企画レースや、予想しやすいシード番組などの魅力ある番組編成に努めます。	GI競走をはじめ一般レースまで、初心者からポートレースファンまで、魅力ある番組編成に心がけました。	4	ゴールデンウィークにGI競走を開催するとともに、予想しやすいシード番組や進入固定レースを実施するなど、舟券の購買意欲を高め、売上向上が図れました。	現状維持	売上向上につながる魅力ある企画レースの開催や、推理しやすい（買いやすい）番組編成に努めます。また、印刷製本関係を広報・宣伝事業へ移行し予算執行の効率化を図ります。
競艇事業課	投票関係事業	舟券発売システム全般の運転・保守管理のほか、舟券の発売及び払戻・返還金の支払いなど、投票業務全般の安全かつ円滑な運営に努めます。	システムの事故件数	舟券投票システム全般の保守管理・整備によるシステム機器のトラブル防止、円滑な発売払戻の実施により、本場来場者への満足度向上を図るため、機器の重大な事故の件数を指標とします。	0件	0件	全国総合払戻サービスの拡充	適切な保守管理により円滑なシステム運用ができました。	4	業務の遂行にあたって、場内の舟券発売システムや機器の保守・運用管理に起因する障害等は発生しておらず、舟券発売にあたって支障は生じませんでした。8年ぶりの開催となったSG競走においても、買い漏れ等の発生を抑えることができました。	現状維持	適切な保守管理に努めるとともに、集約化システムなど定期的な更新を行うことにより、投票業務の円滑な運用を目指します。また、キャッシュレス投票などファンの動向に応じた機器の導入を検討していきます。
競艇事業課	警備関係事業	競走場へ来場するファンに、安心してレースを楽しんでもらえるよう適正な警備業務を行うことで、競走場内の秩序維持に努めます。	事故、騒擾の件数	ファンが安心して楽しめる施設環境づくりに努める。競走場内の秩序維持を図るため、競走場内での業務に関する重大な事故、騒擾の件数を指標とします。	0件	0件	場内、駐車場で紛争等が発生しないように警備体制を整えるとともに、トラブルが発生しても早期の解決を目指します。	警備体制の強化により、トラブルの発生を未然に防ぐことができました。	4	警備担当と保安担当、委託業者（場内、駐車場）の確かな連携により、競艇場内の秩序維持が図れました。	現状維持	スタンド棟、外向発売所全体として、配置の見直し、人員の拡充により、より一層の警備体制の充実を図ります。